

2015年6月25日

一般社団法人 GOLD 日本委員会
2015年度 定時社員総会議事録

開催日時：2015年6月25日(木) 18:00～18:50

開催場所：東京ガーデンパレス 会議室 3階「橘」(東京都文京区湯島一丁目7番5号)

出席社員：21名(うち委任状による出席17名)

出席役員：代表理事 福地義之助(議長、議事録作成者)

理事 三嶋理晃(敬称略)

事務局：本岡、西山、斉藤、荻山

1. 開会宣言・議長就任宣言

定刻18時00分となり、福地代表理事より、開会宣言がなされた。議長は、定款第18条の規定に基づき福地代表理事が務めることとなった。

2. 出席社員数の報告

議長は、本日の出席社員及びその議決権数等を事務局から報告させ、本社員総会の決議事項すべてについて、定款第19条に規定する決議に必要な定足数(26名中13名以上)を満たしている旨を報告した。

議決権を有する社員の総数 26名

総議決権数 26個

本日の出席社員数 21名(委任状による出席を含む)

本日出席の社員が有する議決権数 21個

3. 議事進行ルールの説明

議長は、議事の秩序を保つため、社員の発言については議長の指示に従うようお願いしたい旨を述べた。また、報告事項に対する質疑については、各報告事項の説明の後をお願いしたい旨を述べた。

4. 報告事項

4-1. 2014年度事業報告及び計算書類報告

1. 2014年度の事業報告書について事務局より報告があった。

資料：事業報告書、事業報告の附属明細書

2. 2014年度の計算書類について事務局より報告があった。

資料：貸借対照表、損益計算書、貸借対照表および損益計算書の附属明細書

3. 2014年度の監査報告書について事務局より報告があった。

資料：監査報告書

4. 議長が社員に質問を求めたが議場からの質疑はなく、満場一致をもって了承を得た。

4-2. 2015 年度事業計画及び収支予算報告

1. 2015 年度の事業計画書について事務局より報告があった。

資料：事業計画書

2. 進捗中の事業について事務局より新たな報告がなされた。

- 1) 1.啓発事業 1-2.日本 COPD サミットの共催について、主催団体によるプログラム委員会が設立され、7月18日(土)に第1回目のミーティングが開催されることが報告された。また、日本循環器学会禁煙推進委員会との協業が理事会にて承認され、要望書を提出し、現在検討いただいていると報告がなされた。同様に協力を打診していた独立行政法人環境再生保全機構は、今期は見送りとなったことが報告された。
- 2) 2.啓発支援事業 2-2.自治体担当者向け COPD 講習会について、独立行政法人環境再生保全機構と共催で実施することが合意され、まずは兵庫県と岡山県での開催に向けて準備を進めることが報告された。
- 3) 5.その他:厚生労働省公募への応募の検討について、5-1.地域健康増進促進事業への応募の検討、5-2.厚生労働科学研究における戦略研究への応募の検討のいずれも、今年度の公募が締め切り済みの為、来年度の公募について今後検討していくと報告がなされた。

3. 2015 年度収支予算の中間報告が行われた。

資料：収支予算書

4. 議長が社員に質問を求め、次のとおりの質疑応答を行い、社員の上承を得た。

質問内容	回答内容
日本 COPD サミット終了後に、関係各所に報告書を提出しているか。	提出している。
認知度把握調査について、インターネットの調査では、若年層が対象になってしまうのではないか。	性別及び年代別にそれぞれ均等の人数を抽出しているため、偏りは無い。
認知度把握調査は以前からインターネット調査で行われているのか。調査手法は変えなくて良いのか。	健康日本 21(第二次)で国が出発点としている「認知度 25%」という数字は、GOLD 日本委員会の調査データが元になっているため、今後も同じ方法で調査していくべきである。今後は、全身疾患との関連等をキーワードに新たな切り口でアプローチすることで幅広い対象に認知度を向上させていくことも検討したい。

5. 閉会宣言

18時50分、議長により2015年度定時社員総会の報告事項がすべて終了したことが宣言され、閉会した。

以上の議事の経過及びその結果を明確にするため、本議事録を作成した。

議事録作成者 代表理事 福地義之助

議事録署名人 議長 福地 義之助 (印)

理事 三嶋 理晃 (印)

以上